

長澤 紀美子

高知女子大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授

高齢者の主体的な参加による高齢者保健医療福祉分野のガバナンスの構築に向けて  
- イギリスの事例を中心に

高齢者保健医療福祉領域で自治体及び供給者レベルでの意思決定に高齢者が参加し、ガバナンスを有効に機能させるためのアプローチについて、イギリスをもとに考察した。まず、新たな住民参加が求められてきた背景をNPM(ニュー・パブリック・マネジメント)論をもとに考察した。次に、住民参加型ガバナンスの妥当性を確保するための重要な手段として「審議制民主主義」(Deliberate Democracy)に着目し、その特質と主要な手法、行政レベルでの保健医療分野への適用の際の意義と課題について先行研究をもとに整理した。さらに、事業者レベルでの参加として、NHS(国民保健サービス)における患者・公共参加政策の動向と課題を概観した。イギリスの保健医療福祉分野における新たな参加政策はまだ発達段階にあり、その発展のためにはプロセスの信頼性、代表性、公平性、透明性を確保する妥当な手続きの確立とともに、行政や専門家による適切な長期的な支援が必要である。